※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合ａ	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書	私たちの地理総合世界から日本へ（二宮書店）						
副教材等	詳解現代地図　最新版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理総合では大きく三つのことを学習します。一つ目は、現代世界を捉えるための地理的技能の習得のために、中学校までの学習を振り返り、現代世界の結び付きを地理やGISを用いながら学習をします。二つ目に、現代世界の多様性や諸課題について、世界の特色ある生活文化と地理的環境との関わりや地球的課題を解決するための学習を通して、国際理解や国際協力の重要性を学びます。三つ目に、我が国の持続可能な社会づくりに関する地理的認識を養うために、国内外の防災や生活圏の地理的な課題について学び、その課題解決にむけた考察をします。生徒の能力や学習のニーズに応じて、観察や調査、統計、画像、文献などの地理情報の収集、選択、処理、諸資料の地理情報化や地図化などの作業的で具体的な体験活動や主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察しながら学習を深めます。

２　学習の到達目標

- 平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として必要な知識や技能を身につける。
- 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究し解決できる能力を身につける。
- グローバル化する国際社会において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者であろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
中間考査範囲	球面上の世界	・地球上の位置情報の基礎として，球体としての地球，緯度・経度の基本的なしくみ，地球上での位置の示し方を理解する。 ・経度の違いから時差の概念を捉え，日常生活における時差計算の技能を身につけ，球面として成り立つ世界認識をもつ。	a：地球上での位置，太陽高度の変化，緯度経度のしくみ，時差の計算について理解できたか。 b：球体としての地球の観点から，図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え，説明できたか c：球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し，作業や考察に取り組むことができたか。	考査 小テスト	課題 （経度緯度のしくみと時差の計算）	リアクションペーパー
	日本の位置と領域	・図法によって異なる世界地図の特色を捉え，スケール，視点，図法などを変化させながら，世界における日本の位置を理解する。 ・グローバルな立場から日本の領域を理解するために，国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら，日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。	a：世界地図の主な図法と利用について理解できたか。 国家の領域に関する知識を身につけ，日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。 b：世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え，日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 c：様々な世界地図の違いに関心を持ち，資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。 日本の領域に関する問題について，意欲的に探究し，海洋資源の問題とともに考えることができたか。	考査 小テスト	課題 （世界地図の主な図法と利用）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

中間考査範囲	国内や国家間の結びつき	・グローバル化が進む世界において，国家間の協調や不均衡を理解するために，世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 ・交通・通信，貿易・物流，観光の視点から，人やもの，情報，資本・サービスの移動のようすについて，統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 ・グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために，資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。	a：人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 b：複数の統計地図を結びつけ，世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 c：統計資料を意欲的に読み取り，それを表現できたか。 統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	考査 小テスト	課題（統計地図の作成）	リアクションペーパー
	暮らしのなかの地図とGIS	・身近な地図を集め，それらの地図の特徴を捉え，地図情報の有用性を理解する。 ・地図情報を活用する方法として，紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し，地理院地図や地形図を通して認識する。 ・GIS が日常生活にも利用されている実例を捉え，大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法，そのしくみについて理解する。 ・GISで作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。	a：GISの特徴や利用方法，そのしくみについて理解し，GIS で作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 地理院地図やひなた GIS などインターネット上の GIS の機能を利用し，地理空間情報を活用できたか。 b：身近な地図について，目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。 紙の地形図と電子地図の用途や活用について，地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 c：身の回りの地図に興味を持ち，意欲的に地図の知識を活用できたか。 GIS の作業に意欲的に取り組み，GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	考査 小テスト	課題（GISによる地域分析）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

中間考査範囲	地形と生活文化	・世界の大地形の広がりがプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し，変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し，地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。 ・河川，海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり，およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について，写真や地形図などの資料を通して考える。	a：地形についての知識を身につけ，世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。 地形図から等高線や地図記号などを判読し，地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。 b：世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ，世界の地形配置と比較しながら考察できたか。 生活している地域の地形の特徴について，写真，地形図などから捉え，人間生活との関連を考察できたか。 c：地形図や分布図，写真，模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。 地形図を用いた作業に意欲的に取り組み，地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	考査 小テスト	課　題（地形断面の作成）	リアクションペーパー
中間考査						
期末考査範囲	気候と生活文化	・世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え，地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 ・降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え，植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 ・熱帯，乾燥帯，温帯，亜寒帯，寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか，どのような生活の工夫があ	a：大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。 各気候の分布の特徴を理解できたか。 雨温図や写真から情報を抽出し，各気候と植生の対応や，それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り，整理できたか。 b：世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。 気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。 写真などの資料をもとに，各	考査 小テスト	レポート（世界の気候と生活のつながりを調べる） 課　題（雨温図・ハイサーグラフの作成）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

期末考査範囲	気候と生活文化	るのか，写真や雨温図などの資料から考える。	気候により景観が異なることを捉え，農業や生活への影響を考察できたか。 c：雨温図や写真の判読を通じて，世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。 雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。			
	産業と生活文化	・世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え，世界スケールにおける第１次産業，第２次産業，第３次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。 ・産業の発達と生活文化がどのようにかかわるのか，産業はどのように変化してきているのか，主題図などの資料を通じて理解を深める。	a：世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。 主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 b：自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。 世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 c：身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。 産業が発達し続けていることを，時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	考査 小テスト	発表（身近な商品と国際的な流通）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

期末考査範囲	宗教・言語と生活文化	・世界でみられる生活文化の多様性について，宗教，言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。 ・世界の少数民族，移民，難民の問題を捉えながら，マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し，自他の文化を尊重する社会の実現を考える。	a：世界の多様性を理解し，異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。 主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。 b：生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え，資料をもとに考察できたか。 世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え，考察できたか。 c：世界の宗教の特徴をまとめ，身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。 難民と移民の問題構造を調べ，難民問題の解決策を意欲的に探究できたか。	考査 小テスト	レポート（世界の難民問題を調べる）	リアクションペーパー
	経済発展と生活文化の変化～東アジア	・社会経済システムの変化に焦点を当て，東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて捉える。 ・特に世界や日本，中国，韓国の 3 か国とのつながりから両国の経済発展の発達過程ついて理解し，経済発展の結果として起きている様々な問題について生活文化と対応させながら考える。	a：図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え，課題を整理できたか。 中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。 b：中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について，主題図などの資料をもとに考察できたか。 日中韓の連携を学習内容から見出し，新しい関係づくりを捉えることができたか。 c：身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ，中国や韓国の経済成長と課題について探究できたか。 日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究できたか。	考査 小テスト	レポート（身の回りの中国製品と韓国製品を調べる）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

期末考査範囲	宗教の多様と生活文化～ASEAN 諸国	・多民族社会と地域統合に焦点を当て，様々な言語や宗教をもつ東南アジア諸国の人々の生活文化にはどのような特色がみられるのか，主題図や写真などの資料をもとに理解する。 ・特に仏教，イスラム教，キリスト教の各文化圏における生活文化の多様性や多言語・多民族社会の様子，また豊かな資源を背景に経済発展を遂げる ASEAN 諸国の現状と課題について考える。	a：図版や写真から多民族社会を構成する地域的な特徴を捉え，生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。 ASEAN 諸国を例に多様な民族が暮らす国々が統合を進めていった背景や課題について理解できたか。 b：重層的，複合的に成立している ASEAN 諸国を例に主題図や写真から言語・宗教の観点で特徴を見出すことができたか。 ASEAN 諸国の統合による生活文化の変化について考察し，課題を協議できたか。 c：多様な言語・宗教からなる ASEAN における経済成長と経済格差について意欲的に探究できたか。	考査 小テスト	グループ協議（ASEAN の統合と課題）	リアクションペーパー
	水の恵み生活文化～南アジア	・水資源に焦点を当て，地形，気候などの自然環境を捉えながら，水資源と宗教，農業，文化や産業の成立の関わりを主題図やグラフなどの資料を通じて理解する。 ・経済成長を背景とした水資源の課題を周辺国とのつながりから考える。	a：図版や写真から自然環境を捉え，生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。 水の恵みを受けた農業と生活文化の関わりについて理解できたか。 b：インドを例に自然環境と農業のつながりを資料をもとに考察できたか。 経済発展による生活文化の変化と，それに伴う水問題の課題について考察できたか。 c：生活文化と産業の進展の関連や市場経済の進展による自然環境への影響など，地域の課題を多角的，多面的に探究できたか。	考査 小テスト	レポート（水問題と改善への取り組み）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

	イスラーム社会の多様性と生活文化 ～イスラーム圏	・イスラームに焦点を当て，気候条件，宗派の違い，聖地メッカからの距離，エネルギー資源の有無などを基盤とした経済水準の違いについて理解する。 ・ムスリムの生活文化に差異をもたらしている要因を主題図や写真などの資料をもとに考える。 ・社会問題の例として，パレスチナやエルサレムの問題，少数民族の問題を民族・言語の分布から理解する。	a：図版や写真からイスラームの特徴を捉え，自然環境と生活文化との対応を整理できたか。 豊富なエネルギー資源による恵みと生活文化の変化を理解できたか。 イスラーム圏の課題を日本との関連をふまえて整理できたか。 b：写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで，写真と地図を組み合わせて考察し，イスラーム圏の生活文化を説明できたか。 地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できたか。 c：イスラーム圏の生活文化を意欲的に調べ，圏内の共通点や相違点を探究できたか。 課題がどのように日本と関わっているかを考え，日本や自身が取り組むべきことは何かを追究できたか。	考査 小テスト	発表（イスラームの人々の生活）	リアクションペーパー
	イスラーム社会の多様性と生活文化 ～アフリカ	・自然環境と生活文化の対応とその多様さに焦点を当て，モノカルチャー経済の構造は残りながらも，多様性に富む自然環境や食文化をもち，資源開発などを背景とした近年の経済成長について主題図や写真などの資料を通じて理解する。 ・経済成長や開発などを背景としたアフリカの課題を自然環境と生活文化の関わりから考える。	a：図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え，自然環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。 生活文化を地形や気候と関連づけ，農業と食文化の関連について理解できたか。 b：地形，気候，歴史的背景とともに生活文化の多様性を考察できたか。 経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえ，アフリカの課題について捉え，課題やその対策を説明できたか。 c：食文化や生活の工夫を調べ，多様な自然環境の広がりとの対応を見出し，意欲的に探究できたか。	考査 小テスト	発表（課題をSDGsの観点で調べる）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

期末考査範囲	イスラーム社会の多様性と生活文化 ～アフリカ		アフリカの課題をまとめ，SDGs をふまえた課題解決策を考えたり調べたりできたか。			
期末考査						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度